対象年度	平成	31年度	総	合言	十画	実施:	計画	策定及	び行	 	評価	らシ	<u> </u>			
事務事業名					運営管理				予算事			学校給	食セン	ター追	運営管理	里経費
予算科目	会計	01	款 10	項 06	日 03	事業 0501	経	京求区分 E常経費	根拠法	令	泛給食剂	<u></u>				
	1-1生き2	担う子ども る力を育む					ちづくり	の(教育・文	事業の	区分			主	要事業	美	
総合計画体系	②安心し	て学べる気	学校づ	くりの	推進	仪积 日/			担当課金	区 垒			給食	センタ	7 —	
中 朱 田田		安心な給食							担コ味					2		
事業期間	1	(昭和48年) のような状						【事業開始	うのきった	かけや作	九市の	状況な	ル 】			
学校における	教育の一段	景として,	安全安	安心な給	食を安		給する	1 7 × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	100 0 1	, , , ,	<u> </u>	VVDE 5.				
ことにより、り	児童・生術 	走の心身の 	健全7	¢発達に 	- 寄与す	る。 										
【手段(事業						2 19 (11.)		【対象(た					うのか)]		
・安全安心で ,安全で新鮮						を提供す	るため	市内小中学	校,児童	置・生作	走・教!	職員				
・安定した給	食提供の					画的な修	:繕,効									
率的な運用を	凶る。							【事業をと	りまく野	景境の変	な化】					
								安全な食に	対する意	意識は非						食する給食
								に関する信更新,衛生								音設備の管理
								\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. [1	~ 5. w.,	u, , , ,			×	, 40	
1 1√ =	+91年帝	- 古光小穴	1			「可比	-0.0年度	古光内宏】				1 寸 出	-0.0左 由	: 申3	火 中宏	
給食実施日数		事業内容	1		給食実	<u>【半风</u> E施日数		事業内容】		給	食実施	<u>【半风</u> 近日数	33年度 199日	争 ラ	案 /公分	
70.20					75					ľ		-				
■事業費								·	П							
	世	+ Щ		Δ.	H29	9年度	_	H30年度								
財	庫	<u>支</u> 出		金 金	H29		0		0 4							
財具地	支	出 方	<u></u>	金 債	H29	384	0 4 0	38	4							
財源内を	支	出 方 の	<u>*</u> 1	金 債 他	H29	384	0 4 0 9	38-	4							
財場場地でおいます。	支般	出 方 の 財	<u></u>	金 債 他 源	H29	38 ⁴ (219, 269 143, 169	0 4 0 9	38 38 215, 80 138, 49	4 DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD							
財源内を	支 般 計	出 方 の 財	<u>*</u> 1	金 債 他 源		384	0 4 0 9 5 8	38-	4 DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD							
財 国 県 地 そ ボール	支 般 計	出 方 の 財 (千	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(38 ² (219, 269 143, 169 362, 818 (千円)	0 4 0 9 5 8 金客	38. 215, 800 138, 49. 354, 67 類 (千円)	4							
財	支 般 計	出 方 の 財 (千	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(38 ² (219, 269 143, 169 362, 818 (千円)	0 4 4 0 9 5 8 金 8	38 215, 80 138, 49 354, 67 質 (千円)	4							
財源 内 訳 一 表 節 (01 報酬 (09 旅票用費 11 役務費	支 般 計	出 方 の 財 (千	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(38 ⁴ (219, 269 143, 169 362, 818 (千円) 27 265, 660 548	0 4 4 0 9 5 5 8 8 金名 7 4 4 0 0 8	38. 215, 80 138, 49: 354, 67 類 (千円) 7: 261, 29: 75	4							
財 源 内 訳 一 歳 ん の1 報 が 第 11 2 3 4 5 6 11 7 8 7 8 11 8 7 8 11 8 7 8 7 8 8 8 8	支 般 計 番 号	カ カ の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(38 ⁴ (219, 269 143, 169 362, 818 (千円) 265, 660 548 90, 312	0 4 4 0 9 9 5 5 8 金 8 4 4 0 0 8 8 2 2 5	38 215, 80 138, 49 354, 67 項(千円) 7: 1: 261, 29 75 90, 95	4							
財源内 訳	支 般 計 番 号 及び賃借料	カ カ の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(38 ⁴ (219, 269 143, 169 362, 818 (千円) 27 265, 660 548 90, 312 3, 726	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 預 (千円) 7: 1: 261, 29 75 90, 95	4							
財源 国 県 地 で で で で で で で で で	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類 (千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33	4							
財源 内。 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 預 (千円) 7: 1: 261, 29 75 90, 95 9: 1, 33	4							
財源 国 県 地 で で で で で で で で で	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類 (千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33	4							
財源 内。 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類 (千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33	4							
財源 内。 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類 (千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33	4							
財源 内。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 01 報酬 09 旅需用 11 で 12 で 13 委託 14 使工 15 工 16 工 18 項 18 項 27 公 門 内	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類 (千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33	4							
財源 内。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 01 報酬 09 旅需用 11 で 12 で 13 委託 14 使工 15 工 16 工 18 項 18 項 27 公 門 内	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類 (千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33	4							
財源 内。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 01 報酬 09 旅需用 11 で 12 で 13 委託 14 使工 15 工 16 工 18 項 18 項 27 公 門 内	支 般 計 番 号 及び賃借* 負費 入費	出 方 の 財 (千 + 名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金 債 他 源		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類 (千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33	4							
B	支 般 計 番 号 及び賃借料 負費 入費 輔助及びろ	カ カ の 財 (千 + 名 学 文付金	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	金 (債 (他 (源)))		(143, 163 362, 818 (千円) 265, 666 548 90, 312 3, 726 2, 374	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類(千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33 53 10	4							
B	支 般 計 番 号 及び賃借料 負費 入費 補助及びろ	出 方 の 財 (千 + 名 学 文付金	(A %	金 (債 (他 (源) () () () () () () () () () () () () ()	金額((38 ² (219, 269	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類(千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33 55 10	4							
B	支 般 計 番 号 及び賃借料 負費 入費 補助及びろ	出 方 の 財 (千 + 名 学 文付金	(A %	金 (債 (他 (源)))	金額((38 ² (219, 269	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類(千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33 53 10	4							
B	支 般 計 番 号 及び賃借料 負費 入費 補助及びろ	出 方 の 財 (千 + 名 学 文付金	(A %	金 (債 (他 (源) () () () () () () () () () () () () ()	金額((38 ² (219, 269	0	38 215, 80 138, 49 354, 67 類(千円) 75 261, 29 75 90, 95 91 1, 33 53 10	4							

平成29年度行政評価シート

■指標

種類		単位		H29年度	H30年度	H31年度
	給食実施日数	目	目標	199.00	197.00	199. 00
活動			実績	195.00	0.00	0.00
指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
成果			実績	0.00	0.00	0.00
指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

指標					目標	0.00	0.00	0.00				
					実績	0.00	0.00	0.00				
■事業	(評価											
必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	義務的な事業である									
亞州加	実施主体の妥当 性	A 妥当である										
妥当性	手段の妥当性	A 妥当である	現在の方式が一般的であると思われる。									
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない 維持管理をしていく上で修繕によるコスト増がみられる。										
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない 広く便益を提供している。										
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない 水準に達している。										
進捗度	度 事業の進捗 A 順調である 順調に学校給食は提供されている。											
総合	· 評価 上記評	価を踏まえて事業全体に	ついて評価し、問題点	点・課題等を指摘して	くださ	١١						
安心で多 。	そ全な学校給食を,	安定して提供を図るため	か,調理委託,運搬委	託,施設設備の定期,	点検,循	新生管理等必要	な措置を講じて	v <				
対応策	ほ提言等 この事	業を今後どのように改善	・改革をしていきます	トカン								
経年劣化	公により,機械,言	設備,器具の修繕や,食器	器, 食缶などの更新を	計画的に実施してい。	<u> </u>							

■方向性

_	
	1 次評価(1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) □拡充(人・モノ・カネ等の拡充) ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続(改善・改革なし) □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置
	改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 児童生徒の健全な育成に欠かせない事業であり、安心で安全な学校給食の提供を図るため、計画的な施設設備の更新や、衛生管理に努めていく。
	2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) □拡充(人・モノ・カネ等の拡充) □改善改革しながら継続 □現状のまま継続(改善・改革なし) □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置
	企画調整会議の意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 上記評価のとおり。